

👉 G A P の取組 (個別認証)

株式会社 中村園

GLOBALG.A.P.

茶・ハーブ

<基本情報>

所在地:福岡県八女市

構成員:5名(繁忙期に臨時雇用が若干名)

栽培面積(認証取得面積):茶圃場 9.8ha(6.4ha)
ハーブ圃場 62a(50a)

【経営理念】

「良質な食品を増やすことで、豊かで健康的な食生活を実現する」



<G A P の取得のきっかけ>

- ・農産物を生産する者として
必然性
- ・地域の担い手として、率先
して取り組む**必要性**



GLOBALG.A.P.
(2018年2月茶認証取得)
(2018年12月ハーブ認証取得)

<GAP認証取得で苦労したこと>

◆生産履歴の管理

- ・要求される項目と日常の栽培作業の各項目との洗い出し。
- ・現場で使いやすい記録様式の作成。

◆労働環境に対する意識

- ・手の消毒、防除時のマスク着用等のルール作成。
- ・ルールの必要性を作業員へ適切に理解させる。

◆リスク評価

- ・傾斜度や栽培環境の適切なリスク管理内容の把握。
- ・把握した内容をリスク評価し、作業員全員に理解させる。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

◆取引先とのつながり

⇒GAP認証取得が自負となり、バイヤーや製造メーカーと真摯に交渉ができ取引に繋がったことで、規模を拡大。

◆適切な労務管理

⇒日々作成した作業記録のデータを活用することで、作業効率が向上。

◆情報共有の重要性

⇒朝礼や全体会議による情報共有により、作業員の意識改革や安全意識を確立。

◆管理作業の正確さ

⇒クレーム対応等の訓練を繰り返したことで、重要なリスクが把握でき、農作業の正確さが向上。



問い合わせ先はこちら⇒TEL:0943-24-9099、FAX:0943-23-2105

👉 **GAPの取組**
(個別認証)

(有) 角田製茶

OKUYAME KAKUDA SEICHA
角田製茶

JGAP

茶

<基本情報>

所在地：福岡県八女市上陽町北川内187-3

構成員：6名（役員3名、従業員3名）

栽培面積：12ha

【経営理念】

栽培から最後の仕上げまで丁寧に自園自製で製造し、いち早くJGAP認定茶農場として、安全・安心・高品質なお茶作り。



<GAP認証取得のきっかけ>

- 福岡県主催の学習会で、**これからはGAPが必要になる**ことを知り、**誰よりも早く認証取得**したい。
- 先代からの経営譲渡をきっかけに、生産工程の管理手法を確立したい（従業員の指導にも役立つ）。
- 商談時の交渉手段の一つ**となると確信。

JGAP認証取得 ⇒ 平成22年2月

<GAP認証取得で苦労したこと>

- 10年前**の認証取得時は、参考になる**資料がなく管理帳簿などを独自で作成**。
- リスク管理の対応策の洗い出し。
- 摘採機や荒茶・製茶**機械操作マニュアルの作成・掲示**。
- 労災などの労務管理に伴う資格取得。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 農場の整理整頓**ができ、安全・安心の農場管理ができた。
- 製品のランクに関係なく、GAPの取組が徹底できている。
- 取引先から何を求められているか分かるようになった。
- 取引先からの信用が高まり**契約販売による、一定量の取引が確保されている。
- できていなかった商談交渉の土俵に上がれるようになった。



「今後の意向」

- 旨味の強いお茶の価値を国内外に認めて貰い販路拡大を図る。
- 海外への販路拡大に応じGLOBAL G.A.P認証取得を検討。

<問合せ先>

TEL 0943-54-3751、FAX : 0943-54-3758

<http://www.kakudaseicha.com>

👉 **GAPの取組**
(団体認証)

J Aからつ唐津地区茶業部会

ASIAGAP

緑茶(生葉、荒茶)
ウーロン茶(生葉、荒茶)

<基本情報>

所在地：佐賀県唐津市

構成員：組合員 26名

栽培面積：75ha

品目：茶 生葉1,160t 荒茶250t

【経営理念】身近なお茶のことをもっとよく知ってもらい、
『唐津茶』を日本一の銘茶に育てたい。



<GAPの取得のきっかけ>

取引先からの要望 ⇒平成25年7月 JGAP取得
⇒平成30年11月 ASIAGAP取得

<GAP認証取得で苦労したこと>

◆ 部会員の取組意識の醸成

- ・ JGAP取得の際、現状の茶価が維持できないばかりか、取引先も振り向いてくれないのではないかと危機感があり、部会長が部会員を説得し、部会全員が取得

◆ 環境整備（ハード面の設置にかかる導入経費）

◆ ASIAGAP規則に対する理解

- ・ JGAPの経験があり、移行は容易と考えていたが、用語等難しい部分があった。
⇒ ASIAGAP指導員の差分研修を受講



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

■ 販売単価の維持

- ・ 茶の価格が低迷する中、GAP認証を取得したことにより、市況を上回る単価を維持。更新費用に充てることができた。

■ 生産履歴の把握

- ・ 部会全員が取り組んだことにより、全員の生産履歴が把握でき、トレーサビリティが容易に。

■ 部会員の意識向上

- ・ 「整理整頓ができた」
- ・ 「在庫管理がしやすくなった」
- ・ 「自分が生産した茶葉に自信が持てる」



👉 **GAPの取組**
(団体認証)

しみず 清水茶業組合

JGAP

茶

<基本情報>

所在地 佐賀県嬉野市

TEL(茶工場) : 0954-43-2614

〈経営概要〉組合員 17名

〈農場概要〉所属農場 : 18農場 (組合員17農場、組合所有 1 農場)

栽培面積 : 33ha (成園31ha)

栽培品種 : ヤブキタ、オクミドリ、オクユタカ、サエミドリ

〈経営理念〉「地域の気象特性を活かし、消費者へ安心・安全なお茶として認められる産地づくり」



<GAPの取得のきっかけ>

◆取引先の大手飲料メーカー
K社からの要請



2015年 JGAP団体認証
インターテックによるJGAP認証

<GAP認証取得で苦労したこと>

◆全組合員の取組意識の醸成

◆労働環境の整備 (ハード面の導入経費)

・農薬保管庫、集荷加工工場の改修・機器の増設等。

◆生産履歴の管理

・施肥・防除、収穫等の作業日報への記帳徹底。

◆リスク評価 (農作業安全)

・全ての圃場の農作業事故防止への注意点 (圃場間の段差、農業機械の搬出入路) を改めて点検・整理。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

◆整理整頓による作業効率化や在庫管理でコスト削減

- ・組合員の農業倉庫や加工施設で整理整頓が徹底され、**農作業準備、後片付け等の時間短縮**、また、加工工程での**作業効率も向上**。
- ・農薬、肥料等資材の在庫管理で**無駄な支出が減少**。
- ・異物混入や残留農薬へのリスク対応研修により、**製品 (荒茶) の品質向上**。

◆茶園での農作業の安全管理点の見える化

- ・農作業における注意事項を茶園単位で掲示したことにより、組合員の**農作業農機具事故が大幅に減少**。
- ・毎年自己点検を行いリスクの検証・改善。
- ・農作業事故への対応のため普通救命講習の受講。

圃場番号	圃場名称	点検項目	点検結果	改善状況
1	1-1 1-1-1	1. 作業開始前の安全確認 (ヘルメット着用、作業服の着用)	○	
2	2-1 2-1-1	2. 作業中の安全確認 (作業範囲の明確化、作業時間の短縮)	○	
3	3-1 3-1-1	3. 作業終了後の安全確認 (作業範囲の整理、作業時間の短縮)	○	
4	4-1 4-1-1	4. 作業中の安全確認 (作業範囲の明確化、作業時間の短縮)	○	
5	5-1 5-1-1	5. 作業終了後の安全確認 (作業範囲の整理、作業時間の短縮)	○	
6	6-1 6-1-1	6. 作業中の安全確認 (作業範囲の明確化、作業時間の短縮)	○	
7	7-1 7-1-1	7. 作業終了後の安全確認 (作業範囲の整理、作業時間の短縮)	○	
8	8-1 8-1-1	8. 作業中の安全確認 (作業範囲の明確化、作業時間の短縮)	○	
9	9-1 9-1-1	9. 作業終了後の安全確認 (作業範囲の整理、作業時間の短縮)	○	
10	10-1 10-1-1	10. 作業中の安全確認 (作業範囲の明確化、作業時間の短縮)	○	
11	11-1 11-1-1	11. 作業終了後の安全確認 (作業範囲の整理、作業時間の短縮)	○	
12	12-1 12-1-1	12. 作業中の安全確認 (作業範囲の明確化、作業時間の短縮)	○	
13	13-1 13-1-1	13. 作業終了後の安全確認 (作業範囲の整理、作業時間の短縮)	○	
14	14-1 14-1-1	14. 作業中の安全確認 (作業範囲の明確化、作業時間の短縮)	○	
15	15-1 15-1-1	15. 作業終了後の安全確認 (作業範囲の整理、作業時間の短縮)	○	
16	16-1 16-1-1	16. 作業中の安全確認 (作業範囲の明確化、作業時間の短縮)	○	
17	17-1 17-1-1	17. 作業終了後の安全確認 (作業範囲の整理、作業時間の短縮)	○	
18	18-1 18-1-1	18. 作業中の安全確認 (作業範囲の明確化、作業時間の短縮)	○	
19	19-1 19-1-1	19. 作業終了後の安全確認 (作業範囲の整理、作業時間の短縮)	○	
20	20-1 20-1-1	20. 作業中の安全確認 (作業範囲の明確化、作業時間の短縮)	○	
21	21-1 21-1-1	21. 作業終了後の安全確認 (作業範囲の整理、作業時間の短縮)	○	
22	22-1 22-1-1	22. 作業中の安全確認 (作業範囲の明確化、作業時間の短縮)	○	
23	23-1 23-1-1	23. 作業終了後の安全確認 (作業範囲の整理、作業時間の短縮)	○	
24	24-1 24-1-1	24. 作業中の安全確認 (作業範囲の明確化、作業時間の短縮)	○	
25	25-1 25-1-1	25. 作業終了後の安全確認 (作業範囲の整理、作業時間の短縮)	○	
26	26-1 26-1-1	26. 作業中の安全確認 (作業範囲の明確化、作業時間の短縮)	○	
27	27-1 27-1-1	27. 作業終了後の安全確認 (作業範囲の整理、作業時間の短縮)	○	
28	28-1 28-1-1	28. 作業中の安全確認 (作業範囲の明確化、作業時間の短縮)	○	
29	29-1 29-1-1	29. 作業終了後の安全確認 (作業範囲の整理、作業時間の短縮)	○	
30	30-1 30-1-1	30. 作業中の安全確認 (作業範囲の明確化、作業時間の短縮)	○	

👉 **GAPの取組**
(団体認証)

J A児湯 ティーファクトリー

ASIAGAP

緑茶(生葉、荒茶)

<基本情報>

所在地：宮崎県児湯郡高鍋町（団体事務局：J A児湯）

栽培面積：約55ha（20農場が参画）

【経営理念】：法令を順守した生産活動及び安心・安全なお茶の供給を目的とした主体的運営かつ継続的改善を目指す。



<認証取得のきっかけ>

○納入先からの要望のほか、「事故を起こさない仕組」を作り、安全・安心なお茶を提供するため。

⇒ **H27.12月 J G A P 取得**

○更なるみやざき茶の生産管理技術の高さの証明及び販路拡大のため

⇒ **H30.10月 A S I A G A P 取得（宮崎県内初（団体認証））**

<GAP認証取得で苦労したこと>

○関係書類の作成

生産履歴の記入・管理

圃場毎の管理が煩雑（圃場が分散）

マニュアルの共有に時間を要した



○生産者への周知（意識改革）

「GAPをする」の意識付けに時間を要した

○生産・労働環境の整備

防虫対策、小動物の進入対策 等
（より効率性のある対策を検討）



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

◆取引先への有利販売

- ・産地としての信頼確保
- ・海外ニーズへの対応 ⇒ 輸出への備え
- ・国際的なGAP認証プログラムG F S I（世界食品イニシアティブ）承認により販路拡大へ弾み

◆生産者の意識が向上

- ・食品・労働安全、環境保全に対する意識向上
- ・チーム制の導入
生産者同士で安全対策や作業ルール等の遵守についてチェック。不適合があれば班ごとで改善を行う。

◆明確な目標が持てた

- ・共通の生産工程管理ができたことにより、互いに協力でき、生産者同士の関係が深まった。

良品質なお茶の生産

(連絡先)0983-23-6335



👉 **G A Pの取組**
(個別認証)

白園白製 川 越 製 茶

JGAP

緑茶(生葉・荒茶)

<基本情報>

所在地：宮崎県宮崎市田野町

栽培面積：茶 4 ha（品種：さえみどり、やぶきた他）、大根 2 ha、水稻0.2 ha

労働力：家族 3 名（本人・妻・母）、期間パート 4 名

【経営理念】（川越製茶のこだわり）

自園自生による安心・安全なお茶を生産し、消費者に届けること



(川越社長)

<G A Pの取得のきっかけ>

「持続的農業に共感」⇒G A Pを目指す

2017年4月 J G A Pを取得

<GAP認証取得で苦労したこと>

○認証取得までの準備

◆意識改革

- ・意識づくりや決め事の徹底
(G A Pに取り組む意味の徹底)

◆労働環境の整備

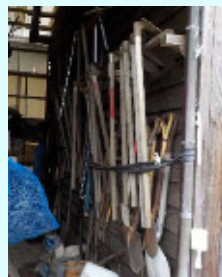
- ・作業施設の整理整頓
- ・リスク要因の洗い出し

◆関係書類の作成

- ・マニュアルの作成

◆認証取得に伴う経費負担

- ・設備の改修経費等



(道具置き場)



(農薬保管庫)

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

◆取引先の信頼確保

- ◆従業員の意識の変化 ⇒ 品質の向上
 - ・作業確認や打合せが増え、作業が効率化した。

◆整理整頓、在庫管理の徹底

- ・整理整頓が徹底され、作業効率も向上
- ・資材の在庫管理で無駄な支出が減少



👉 **GAPの取組**
(団体認証)

(有) 熊 田 製 茶

ASIAGAP

茶

<基本情報>

所在地：鹿児島県薩摩郡さつま町求名9551

経営：熊田製茶：農業女子プロジェクトメンバーの熊田明日香さんご両親の3人で有機茶の生産から加工まで行っている。

☆栽培面積：GAP認証取得園703a

(祖父の代の昭和45年から茶の生産開始、平成14年から有機栽培)

美香園：さつま町・薩摩川内市の若手茶業者の「薩摩さみどり会」の熊田淳人さん夫婦ご両親の4人で有機茶の生産から加工まで行っている。

☆栽培面積：GAP認証取得園580a

(有) 熊田製茶は熊田製茶と美香園の共同経営の製茶工場である。



<GAPの取得のきっかけ>

取引先からの要望と海外へ目を向けた時に必要だと感じた。

平成14年から有機JAS認定

→平成30年2月ASIAGAP茶 Ver.1 1団体認証取得

→令和元年2月 ASIAGAP茶 Ver.2. 2団体認証取得

<GAP認証取得で苦労したこと>

○従来から有機JASとISOを取得していたため、様々な様式の作成はかなり楽だったが、農場2件での団体取得のため、準備が大変でした。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

☆自分達の中で意識付けができるようになったことが一番です。

☆茶商からの売り先に合わせたリクエストに対応できる体制ができたこと。



問合先：電話・FAX：熊田製茶：0996-57-0875
美香園：0996-57-0355

👉 **GAPの取組**
(個別認証)

農事組合法人 菊永茶生産組合

ASIAGAP

JGAP

茶

<基本情報>

設立日：昭和47年11月22日

所在地：南九州市知覧町塩屋23649

組合員数：35名（平均年齢51歳）

茶園面積：161ha

品質目標：

1. 私たちはニーズに合った安心・安全でクリーンなお茶を作ります。
2. 私たちはおいしいお茶をつくるために仕事の仕組みを継続的に改善します。
3. 私たちは食品を作っていることを自覚し、環境に配慮したお茶を作ります。
4. 私たちは「生産性の向上」「組合員の生活の向上」「組織体制の強化」に取り組みます。



安心安全で
クリーンな知覧茶



<GAPの取得のきっかけ>

- ◆ 食に対する意識改革の声
- ◆ 消費者の声に近づく必要性
- ◆ 取引先からの要望



2008年11月 ISO9001取得
2009年3月 JGAP取得
2016年11月 ASIAGAP

<GAP認証取得で苦労したこと>

◆ 取得準備段階

- ・GAPの必要性を理解してもらうための教育
- ・組合員から一人の脱落者も出さない取り組み
パソコン研修、個別指導、農場が記入しやすい帳票作り等
- ・イラストを入れたわかりやすいマニュアルの作成

◆ 取得後

- ・GAPのスキルアップ
取引先による監査の実施・指導
不適合の水平展開や情報の共有化
- ・若手内部検査員の育成
HACCP、食品衛生講習会参加



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

◆ 取引先の確固たる信頼確保

- ・相対取引量が増加（24% ➡ 73%）し、新規顧客も増えた

◆ 組合員の意識変化

- ・「ヒヤリハット」による改善提案で、労働災害を出さない意識が高くなった
- ・「衛生教育」の実施により、食品を扱っている意識が高くなった
- ・作業ごとの責任者を明確にすることで、組織の強化が図れた

◆ 輸出への取り組み

- ・H25年から各国の基準に合わせた農薬試験を行い、農薬体系を確立した（令和元年 米国や台湾向け92 t）



連絡先：(0993)85-3271
HP <http://kikunaga-cha.com/>

徹底した品質管理
（菊永茶生産組合HPより）

👉 **GAPの取組**
(団体認証)

有限会社 ハラダ製茶農園

GLOBAL G.A.P.

ASIAGAP

茶

<基本情報>

所在地：鹿児島県熊毛郡屋久島町安房2457-43

社員10名

<農場概要>

茶園35.4ha（平成30年10月現在）（やぶきた31%, さえみどり29%, ゆたかみどり16%, あさつゆ9%他 全11品種栽培）



<ハラダ製茶のこだわり>

「創業100年を超えて、美味しさを安全に、という品質と日本の「お茶」の新たな可能性を求めて。」

<GAPの取得のきっかけ>

食品工場で実践してきた生産管理手法(GMP)を茶栽培の工程から活用し、取引先からの一層の信頼を得たいという思いからGAPに取組んだ。

平成20年日本の緑茶業界で初のGLOBAL G.A.P.とJGAPの認証を取得。

<GAP認証取得で苦労したこと>

■GLOBAL G.A.P.しか規格がない状況で、取り組みをスタートする。
このため、GLOBAL G.A.P.独特の要求体系への理解に苦労する。

例えば…

- ◎ 海外の農業体系（経営者と作業員がいる大規模経営）を想定した規格になっている
- ◎ 英語から日本語に翻訳されるなかで、規格の本質がわかりにくくなっている
- ◎ IPM（Integrated Pest Management）やPPP（Plant Protection Products）などの聞きなれない言葉が多い
- ◎ 海外では“茶”といえば“紅茶”が主流で、紅茶の製造をベースにした規格内容になっている
- ◎ ISO、FSSC22000とは異なり、一般原則（GR）やAnnexといった関連文書の比重が大きく、これらの理解も必要である

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

◆自らの仕事に対する自信

生産工程を整理、管理することによって、間違いがない作業ができる、間違えていれば修正することが確実にできる。

◆リスク管理への理解（リスク＝発生頻度×重篤性）

リスクの定義が明確となり、生産工程でリスク管理をするという見方が広まった。その結果、食品安全・作業効率の向上に繋がった。

◆法規法令の遵守

農業に必要な法令を見直し、整理することでこれまで以上に地域社会との繋がりが深まった。例えば、水の採取届、労働安全講習、燃料の取り扱いなど。



【お問合せ先】TEL:0997-46-2369 Fax:0997-46-4035

HP <http://www.harada-tea.co.jp/>

👉 **GAPの取組**
(個別認証)

ヘンタ製茶有限公司

ASIAGAP

茶

＜基本情報＞

所在地：鹿児島県霧島市

構成員：従業員12名：周年雇用6名（うち販売事務2名）、臨時雇用7名

栽培面積：25ha

【経営理念】

「家族・スタッフと共に力を合わせ、一人でも多くの方に親しまれるお茶屋でありたい」



＜GAPの取得のきっかけ＞

- ◆ 自社商品の販売額増加 → 2016年10月 JGAP取得
- ◆ 取引先からの要望 → 2018年10月 ASIAGAP取得

＜GAP認証取得で苦労したこと＞

- ・ 栽培～出荷までの各工程のリスク評価
- ・ 従業員への周知
(農場、工場での衛生面や安全面に対するルール作りに苦労した。飲食場所、休憩場所の確保など。)
- ・ 農場、工場、倉庫などの整理整頓
- ・ 製造工程で使用する資材等の安全性や規格を把握すること。

＜GAP認証取得による効果や改善されたこと＞

- ・ 異物混入や衛生面に対する意識が変わった。
- ・ 資材の在庫管理によって無駄が少なくなった。
- ・ 労務管理など雇用環境の改善ができた。
- ・ 生産性の向上
- ・ 有機JAS認証と合わせ、販売面での信頼が向上した。
- ・ リスク評価をすることによって、何をすべきか何が必要か、安全・安心に対する意識が改善された。

＜今後の展望＞

- ・ 現在、米国、フランス、香港、ドバイに有機抹茶と有機煎茶を輸出している。今後さらに、輸出量を増加したい。



お問合せ先：(0995)77-2777
HP <http://www.henta.jp/>